

## 2018年度 総務広報室事業計画書(案)

総務広報室

室長 榊原 昌寛

### 1. 事業方針「多縁・良縁」

もとみや青年会議所は、設立以来、崇高な理想実現の為、様々なJC活動・JC運動に取り組んできました。その結果、会員の人材育成や地域発展の一助に大いに寄与してきたものと信じております。そして、我々の活動・運動を次世代へ紡いでいく為にも、しっかりとした組織を確立するという気概を胸に一步前へ踏み出していかなければなりません。

まずは、本年度の活動・運動が最大限の効果を発揮する為に、組織運営を強化していきたいと考えます。総会・諸会議等を準備・設営し、会議議事録作成や各委員会事業の予算・決算を精査していき、その会議内容を更なる質の高い議論へと導きます。そして、多縁によって入会している会員の志を同じくし、各会員の繋がりを良縁とする為、規律ある例会を各委員会に指導していきます。また、例会は会員が一同に会する貴重な機会ですので、100%例会の実施を目指します。

我々の行っている有意義な活動・運動を対外的にも発信していかなければなりません。有効的な広報手段を多用して、我々の活動・運動を常に発信し、魅力あるもとみや青年会議所を広報していきます。

迅速で堅実な総務運営に努め、各会員の潤滑油となるべく活動し、我々の活動・運動に最大限の効果が得られ、その一つひとつの活動・運動が繋がりをもち、それがやがて大きな光となり、多縁が良縁となる強い絆の組織「もとみや青年会議所」を目指します。

### 2. 事業計画

- ① 総会並びに理事会、例会等の諸会議の設営または運営
- ② 新年会、チャーターナイト、さよなら例会及び卒業式の企画及び運営
- ③ 会員名簿を完備し、会員手帳の整備
- ④ 各種資料のデジタル化と整理、保管、及び事務局内PCのデータ管理及びメール確認
- ⑤ マスコミ・通信媒体を活用した情報の発信及び収集
- ⑥ 日本青年会議所、東北地区協議会、ブロック協議会及び各地青年会議所との連絡調整
- ⑦ 理事会並びに総会・臨時総会等の議事録の作成
- ⑧ 委員会事業に関する予算、決算の指導と通帳管理
- ⑨ 青年会議所活動の対外的情報発信及び報道関係への連絡・調整並びにホームページの更新作業
- ⑩ 組織連携及び組織活性化への積極的取り組み
- ⑪ 日本青年会議所本会が行う理事会へのオブザーブ

事業名	一般会計繰入金	その他収入予算	事業予算
1月通常総会	10,000	0	10,000
新年会	20,000	10,000	30,000
9月臨時総会	0	0	0
チャーターナイト メモリアルパーティー	10,000	10,000	20,000
対外紙(広報紙)	220,000	0	220,000
さよなら例会・卒業式	120,000	40,000	160,000
ホームページ	100,000	0	100,000
合計	480,000	60,000	540,000

## 1. 事業方針「始めの一步」

もとみや青年会議所設立当初より、諸先輩方は時代の流れと共に事業に対してニーズに合わせた試行錯誤を繰り返して参りました。きっと、その先人の努力が現在に繋がり、現役メンバーの我々もまた未来に繋いでいかななくてはなりません。

本年度、当委員会ではまちづくりとひとづくり事業を展開してまいります。現在、国際交流が本宮市、大玉村で行われています。そのような中でまずは、我々が地域のことを理解しなければ、プレミアムなもとみやを発信できません。そこで自分達の郷土や文化の魅力を再確認していく事が必要と考えます。

次に全国的に少子高齢化が進む中で、青少年の育成や生産年齢人口の確保はますます重要な課題となっております。そこでまず就職活動支援をして頂くための、模擬面接会を本年も実施いたします。また、2020年から全国の学校でプログラミング教育が導入されることとなります。その中身として今後さらに IT 関連の需要が多くなることから大きな目的として将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としてのプログラミング的思考を育む事が定義となります。つまり、プログラムを組むことではなく考え方を学ぶことが目的となります。また、IT 関連の人材不足も実情となっていることから、今回、セミナーを通して子供達だけではなく大人の方にも参加して頂くことで一緒に学ぶことで2020年から始まるプログラミングという必要性を深めて頂ければと思います。また、このような事業が未来に繋げる為には我々メンバー一人ひとりの行動が大切であります。そこで、新入会員だけではなく現役メンバーにも意識変革として会員育成セミナーを実施し、これからの JC 活動・運動に繋ぐ事、さらには JAYCEE としての学びや資質向上にも繋がることで、地域のリーダーとしてこれからのもとみやを担う逸材と成長すると考えます。

事業を通して、もとみやの未来の為メンバーに多くの学びとなるよう一人ひとりが気概をもって行動することで、JAYCEE としての成長に繋がり、さらにはその成長が地域の発展や活性化に繋がるのです。まずは JC 活動・運動に対して始め一步を踏み出しまちづくり、ひとづくり事業を実施して参りたいと考えます。

## 2. 事業計画

- ① 意識変革を促すひとづくりを目的とする事業
- ② もとみやの郷土や文化の魅力を繋ぐまちづくりを目的とする事業
- ③ 県立本宮高校模擬面接会事業
- ④ 未来の学びを目的とする事業
- ⑤ 会員育成を目的とする事業
- ⑥ その他、上記以外公益目的事業に関わる事業

事業名	一般会計繰入金	その他収入予算	事業予算
5月例会 (もとみやの魅力発掘事業)	200,000	0	200,000
7月例会 (本宮高校模擬会)	0	0	0
8月事業 (プログラミング教育ひとりづくり事業)	500,000	0	500,000
10月事業 (会員育成セミナー事業)	10,000	0	10,000
合計	710,000	0	710,000

## 1. 事業方針「未来への懸け橋もとみやの想い 一步前へ」

もとみや青年会議所は2017年度、東日本大震災後に受けた感謝を伝えるため英国で初めての国際事業を実施しました。地元小中学生の合唱団を結成して地域を巻き込んだ事業は今後の交流の礎を築くことができたと確信しています。交流の機運を一過性にしないため、理念を継承しながら地域に還元する付加価値の高い事業展開が必要になると考えます。

まずは、我々メンバーが青年会議所だからこそできる事業があると強く自覚し、未来に続く運動として根付かせるため、将来の南達地域を担う子どもたちに向けた人材育成のための事業を行います。行政・地域・学校を巻き込み、地域の子も達と一緒に価値を共有し、成長できるカリキュラムを組みます。

さらに、震災復旧から復興への一助をいただいた「感謝」の想いを英国に届けて交流を深めるといふ事業当初の思いを受け継ぎ、更なる英国との友好への懸け橋となるべく活動と運動を展開していきます。

そして近い将来、子ども達が遠く離れた英国との交流に「自分たちが感謝と友好の懸け橋を作ったんだ」と誇りを持って語るような事業を目指します。

当委員会では、「未来の懸け橋 もとみやの想い 一步前へ」のスローガンを胸に刻み、各委員の参加意欲を高めていきます。そして、事業達成の感動、充実感を委員自身の成長につなげ、今後の活動に生かしていきます。

## 2. 事業計画

- ① プレミアムもとみやまちづくり事業
- ② 地域財産と人が織りなす調和発信を目的とする事業
- ③ 英語でコミュニケーションを目的とする事業
- ④ その他、上記以外公益目的事業に関する事業

事業名	一般会計繰入金	その他収入予算	事業予算
4月～8月事業 未来の懸け橋もとみや の想い海を渡る勉強会	500,000	0	500,000
9月事業 (仮称)プリティッシュ祭り	500,000	メンバー協賛金 270,000 協賛金(一般・OB) 2,000,000 ブース出展料 50,000 クラウドファンディング 300,000 補助金(県) 2,900,000 補助金(一般) 500,000	6,520,000
合 計	1,000,000	6,020,000	7,020,000